

令和5年度「大学等におけるフルタイム換算データに関する調査」 結果の再公表について

令和7年1月31日

令和6年6月26日に公表しました令和5年度「大学等におけるフルタイム換算データに関する調査」(FTE調査)※については、複数の数値に誤りがあることが判明したことから、文部科学省ウェブサイト及び政府統計の総合窓口(e-Stat)における掲載を一時中止しておりましたが、このたび再集計作業が完了し、概要と統計表の再公表を行いました。ご利用の皆様にご迷惑をおかけしたこと、深くお詫び申し上げます。
※OECDの勧告に従い、大学等における研究者数を国際比較可能なフルタイム換算値に補正するための係数（研究時間割合に相当）を得るために5年毎に実施する調査。

大学等における研究者のフルタイム換算係数（研究活動時間割合）

| 調査対象 | フルタイム換算係数 | | | | |
|-------------|----------------|-------|-------|-------|-------|
| | R5年度 | H30年度 | H25年度 | H20年度 | H14年度 |
| 教員 | 0.321 0.322 | 0.329 | 0.350 | 0.362 | 0.465 |
| 大学院博士課程の在籍者 | 0.838 0.846 | 0.856 | 0.840 | 0.659 | 0.709 |
| 医局員 | 0.168 0.169 | 0.147 | 0.440 | 0.387 | 未調査 |
| 他の研究員 | 0.708 0.710 | 0.705 | | | |

※R5年度結果の再公表前後の修正は赤字見え消しの通り。

また昨年6月の公表時の分析結果である、(1)大学等教員全体では、研究時間割合の減少幅は縮小しつつあるが、引き続き減少傾向であること、(2)教育活動及び大学運営・学内事務等の職務活動割合が増加したこと、(3)一方で、教員の研究パフォーマンスを高める上で制約になっている事項に対する回答割合が低下したこと、など、過去からの変化の傾向等に影響を及ぼすような数値の変化はなかったこと併せてご報告させていただきます。